

世界初^{※1} 住宅向け「グリーンガード認証」を取得！

※1.2016年3月UL社より、住宅向けグリーンガード認証を取得。

ご家族の健康を考えた、世界基準のVOC対策。

パナホームは室内空間における化学物質の放散を抑える徹底した取り組みにより、300を超える化学物質について基準値が定められた、世界基準の厳しい認証「グリーンガード認証」を住宅として世界で初めて取得。ご家族の健康のために、世界に認められた質の高い空気をお届けします。

※グリーンガードは、UL LLCの登録商標です。 ※仕様により、本認証対象外となる場合があります。



パナホームが世界に先駆けて取得したことに喜びを感じています。

この世界的に非常に厳しい認証を、パナホームの住宅が世界に先駆けて取得したことで、日本の、そして世界の住宅の室内空気環境が改善されていくことを期待しています。



東京大学名誉教授・元室内環境学会会長
学校法人開成学園 中学校・高等学校 校長 柳沢幸雄氏

日本のシックハウス問題は、 まだ解決されていません。

室内空気汚染が原因とされる健康障害「シックハウス症候群」。日本では、厚生労働省が13物質に室内濃度指針値を設け、国土交通省がうち5物質に関して、品確法にて性能表示を行えるように法制定するなど、行政当局を中心に取り組みを行ってきました。しかしながら、代替として使用される物質・未知の物質の濃度が増加するなど、根本的に解決することが難しいのが現状です。

グリーンガード認証基準により、 有害な化学物質の抑制が可能に。

グリーンガード認証は、日本より10年以上前からシックハウスの問題を抱え、消費者主導で問題の解決に取り組んできた米国で生まれました。住環境に存在するVOC(揮発性有機化合物)について、300を超える物質に対して基準値を設定し、VOCの総量であるトータルVOC(総揮発性有機化合物)量に上限を設けることで、日本の指針対象外のVOCや代替の新規物質、未知のVOCにも対応しています。

■品確法による指針とグリーンガード認証の比較

	品確法による指針	グリーンガード認証
対象物質	5物質	300物質超
トータルVOC濃度	—	500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

パナホームのVOC対策は、健康なくらしのための室内空気質向上を目的としていますが、健康状態の改善や維持を保証するものではありません。

ご入居に際しては、必ず「住まいの手帳」及び取扱説明書をお読みください。

- 地域、販売会社によっては、取り扱っていない場合がありますのでご了承ください。
- 上記の内容は、平成28年4月現在のものです。